



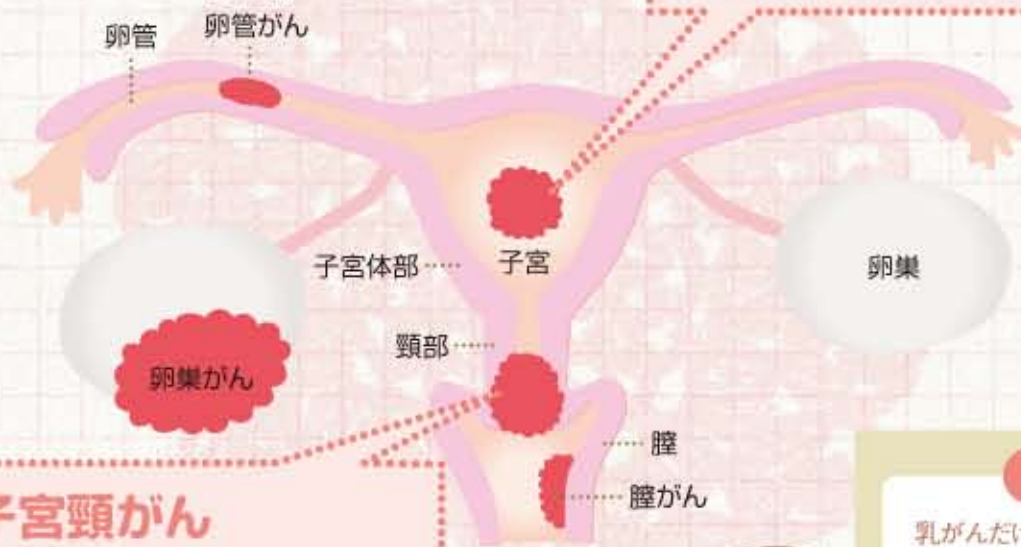
自分の体は、自分で守る! 予防できるがん!

「子宮頸がん」を知る!

子宮がんには、子宮の奥にできる「子宮体がん」と子宮の入り口付近にできる「子宮頸がん」の2種類があります。

子宮体がん

- 発症患者の80%は50歳以降
- 肥満体型
- ホルモンが関係して発症するため、閉経後の方が発症しやすい



予防できるがん!

子宮頸がん

30代の若い女性の発症率が最も多いHPV(ヒトパピローマウイルス)というウイルス感染が原因となり、発症のメカニズムが解明されている予防できる唯一のがんです。検診により、がんになる前に発見が可能のため、ワクチン接種と検診で、ほぼ100%の予防が可能とされています。



乳がんだけでなく子宮頸がんも若い女性の知っておくべき重要な病気です! 日本では、1日に約10人が子宮頸がん で亡くなっています。



子宮頸がんの初期は、ほとんど無症状です!

子宮頸がんの初期には、自覚症状がほとんどありません。進行するにつれ様々な症状があらわれますが、症状に気づいた時にはがんが進行していることが少なくありません。

Check 進行した子宮頸がんの症状

- 性交後出血
- おりものの異常 (茶褐色、黒褐色のおりものが増えるなど)
- 不正出血 (月経時以外の出血)
- 下腹部や膣の痛み など

日本における20-39歳女性10万人あたりの各種がんの発症率推移



出典 国立がんセンターがん対策情報センター、人口動態統計(厚生労働大臣官報統計情報部)

子宮頸がんは、全年齢層では女性特有のがんの中で乳がんに次いで発症率が高いがんです。20~30歳代の女性に発症するがんの中では、子宮頸がんの発症率が最も高くなっています。他のがんとは異なり、若い女性に発症しやすいがんなのです。

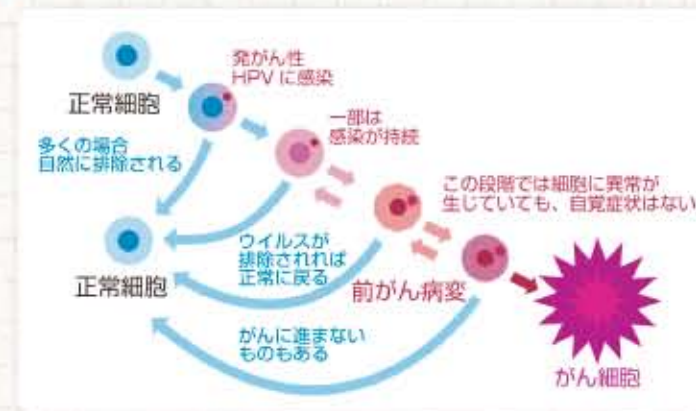
子宮頸がんは、ワクチンの接種と定期的な検診で予防することができるがんです。

発がん性HPV(ヒトパピローマウイルス)の中でも16型、18型の2種類は、他の発がん性HPVに比べて特に子宮頸がんになりやすく、20~30代の子宮頸がん患者さんから高い頻度でみつかっています。このHPV16型、18型の感染をほぼ100%防ぐことができる予防ワクチン「サーバリックス」が日本でも発売されました。すでに世界100カ国以上で承認されています。ただし、接種前に発症している子宮頸がんや前がん病変の進行をワクチンによって遅らせたり、治すことはできません。ワクチンを接種した後も定期的な子宮頸がん検診の受診が必要です。

女性なら誰にでも発症する可能性あり! 性交経験がある女性の約80%が一生涯に一度は発がん性HPVに感染するといわれています。ただし感染しても、90%以上は体内から自然に排除されます。



発がん性HPV感染とがん細胞への変化



女性なら誰にでも発症する可能性あり! 性交経験がある女性の約80%が一生涯に一度は発がん性HPVに感染するといわれています。ただし感染しても、90%以上は体内から自然に排除されます。



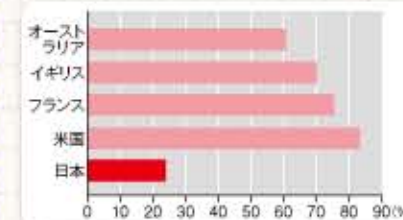
ヒトパピローマウイルス(HPV)

どこにでもいるありふれたウイルスです。

日本の子宮頸がん検診の受診率が、先進国の中で最も低いことをご存知ですか?

発がん性HPVの感染から子宮頸がんになるまでには通常数年から十数年かかるため、定期的な子宮頸がん検診を受けていれば、がんになる前の状態(前がん病変)を発見し治療することが可能です。ところが、欧米先進国の受診率が80%であるのに対し、日本の受診率は約20%にとどまっています。ワクチン接種と定期的な検診で、ほぼ100%予防可能な子宮頸がんですが、その検診受診率の低さゆえに日本の子宮頸がん死亡者数は年間約3500人を越え、若年女性のがんの中で死亡原因第1位となっています。

先進国の子宮頸がん検診受診率



参考 DECD(経済協力開発機構) Health Working Paper No.29 2009

子宮頸がん検診の目的は、早期発見早期治療ではなく、がんになる前の状態(前がん病変)を発見するために行われるものと考え、20歳以上の女性は、1~2年に1回は必ず受診しましょう。

監修:(財)日本対がん協会

子宮頸がんワクチンについて



子宮頸がんワクチンは半年間に3回接種します。

初回接種、初回接種から1ヵ月後、初回接種から6ヶ月後の合計3回の接種が必要です。3回接種することで十分な効き目が得られるため、きちんと最後まで接種することが重要です。

日本では、10歳以上の女性が接種対象となっています。

今のところ6.4年の予防効果が確認されており臨床試験は今も続いています。また統計モデルを用いた予測からは、少なくとも20年以上にわたって、予防効果が得られるものと期待されています。

どこの病院でワクチンを受けられるの?

より詳細な子宮頸がんに関する情報は...「<http://allwomen.jp>」で紹介されています。お近くの子宮頸がんワクチン接種対応の病院を検索できます! (グラクソ・スミスクライン株式会社)

すべての女性に知ってほしい子宮頸がん情報サイト

allwomen.jp



効果は20年以上続くらしいよ!